



機関別評価における  
大学及び短期大学の創意工夫を促すための弾力的措置  
一点検・評価にあたっての考え方、  
一点検・評価報告書の作成内容について—

2025年7月 公益財団法人 大学基準協会

点検・評価にあたっての考え方

# 点検・評価にあたって

1

## 焦点の設定



理念・目的、中長期計画などを踏まえて、点検・評価において何を明らかにしたいのかを明確にする。

例えば…

2

## 点検・評価のプロセス・体制の決定



設定した焦点などを踏まえて点検・評価のプロセスや体制を決定する。

3

## 参照する情報・資料の特定と整理



点検・評価する内容に応じ、参照すべき情報・資料が何かを特定し整理する。

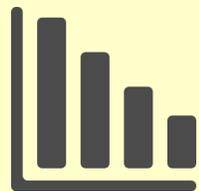
# 例えば、中長期計画や方針、目標は…



グローバリ  
ゼーション



技術革新



人口減少



持続可能な  
発展

地域社会の発展のありかたをどのように考え、それにどのように貢献するか？

社会と大学の関係は？

学生にどのような価値を提供するか？

社会の変化にどのように対応するか？

学術機関としてどのような新たな価値を生み出すか？

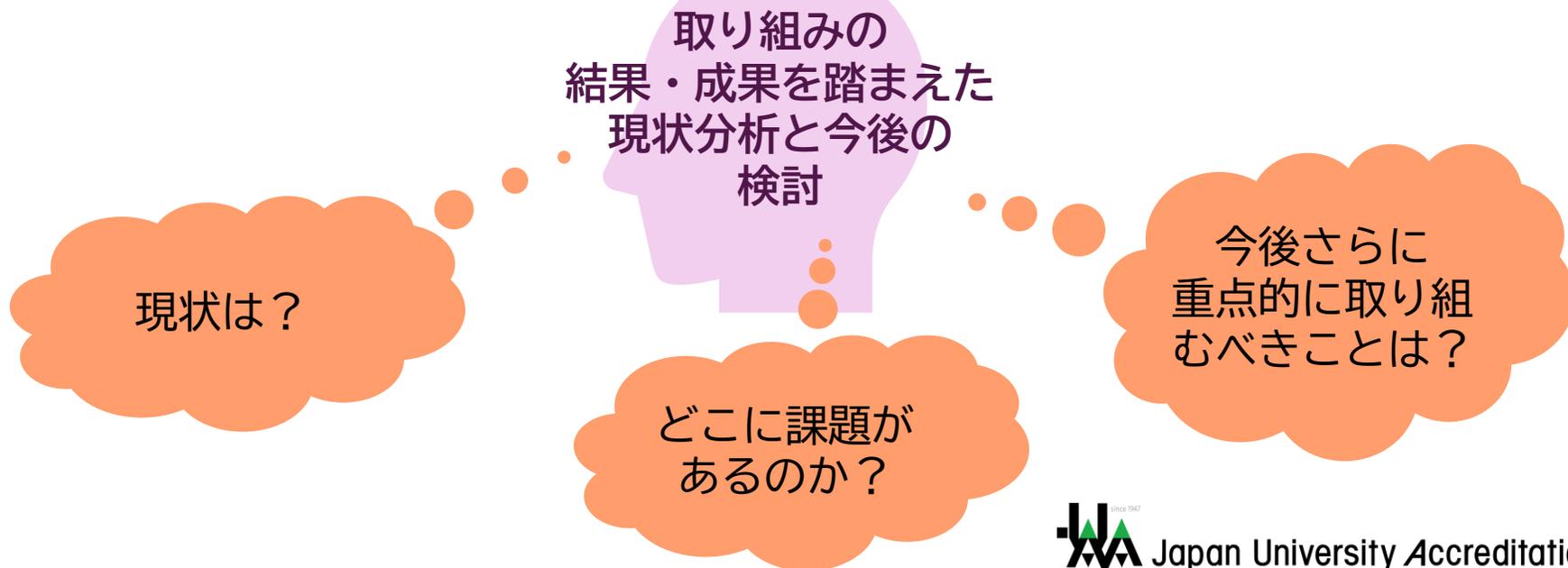
これからの社会にどのような人材を送り出すか？

大学の中・長期計画  
方針や目標へ

# では、点検・評価は…

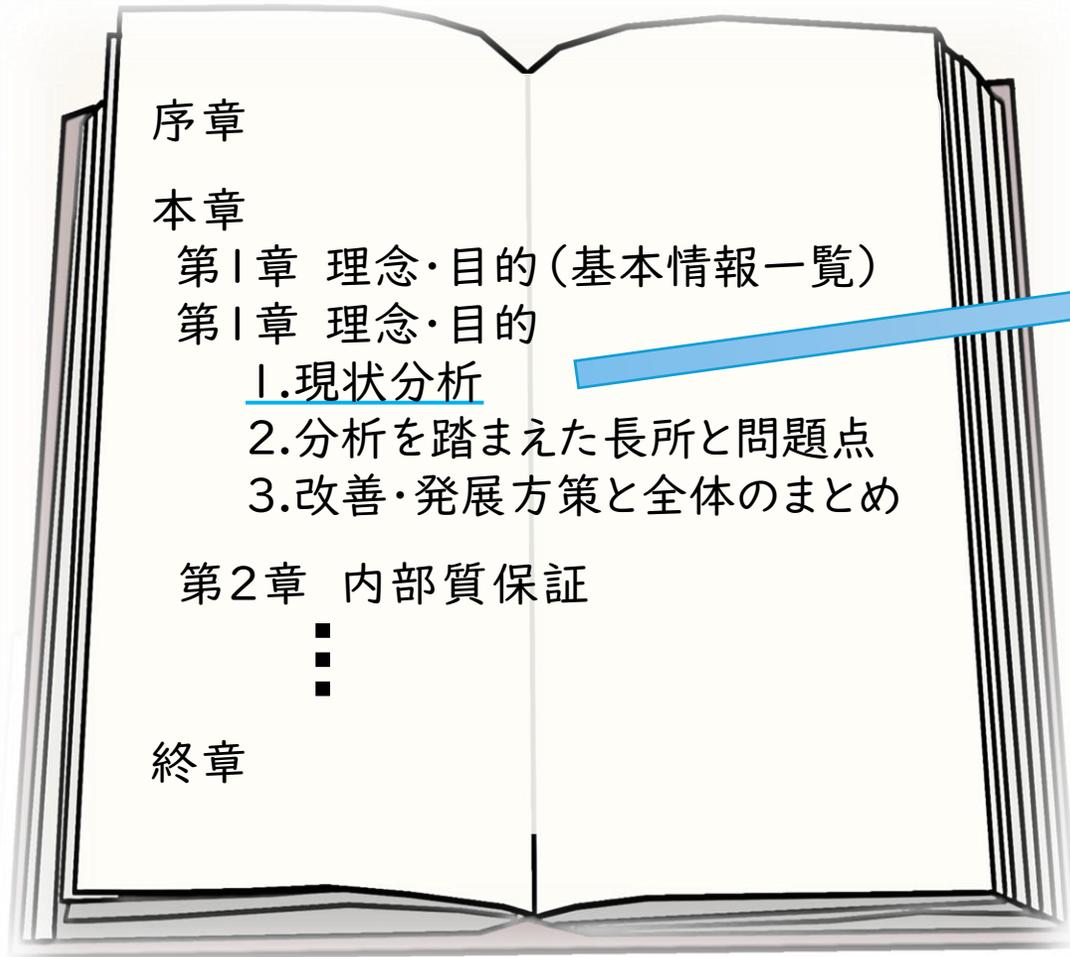


例えば…



# 点検・評価報告書の作成内容

# 点検・評価報告書の構成



現状分析の部分の記述スタイルを弾力化。  
(但し、第10章「大学運営・財務」は対象外。)



✗ 評価項目ごとに現状分析

○ 評価項目単位とせず、章全体で現状分析

序章から終章までが  
**70~100頁** (40字×40行)となるように。  
(基本情報一覧は上記頁数に含まず。)

# 点検・評価報告書「現状分析」の記載イメージ

通常

基準4 教育・学習

1. 現状分析

評価項目①

.....  
.....。

.....  
.....。

評価項目②

.....  
.....。

.....  
.....。  
.....。

弾力的措置  
の場合

基準4 教育・学習

1. 現状分析

学士課程

.....

大学院 ← 項目立ては任意

.....  
.....。

オンライン教育

.....  
.....。

博士課程教育プログラム改革

.....  
.....。

# 点検・評価の基本

- 各大学・短期大学の創意工夫によるさらなる個性の伸張と、それによる理念・目的の実現の後押しが本措置の目的。



- 大学が重点を置く取り組みの成果・達成度
- 今後の発展を期するための検証（自己点検・評価）と改善の実態

- 点検・評価に際し適切性判断の基準(=大学評価・短期大学認証評価時の基準)は、大学基準、短期大学基準であることに変更なし。



次のスライド以下でご説明する「3要素」及び、大学基準、短期大学基準の各基準の補足事項は、大学基準、短期大学基準から導かれるエッセンスであることに留意。**=必ず大学基準・短期大学基準を参照し、理解したうえで点検・評価を実施する。**

# 点検・評価報告書に求める基本3要素

## 【要素1】 方向性・考え

取り組みの成果・達成度を  
第三者が理解するための  
大学の考え

(例)理念・目的の実現に向けた  
現在の中・長期の計画、  
方針、目標等

## 【要素2】 取り組みの状況 ・達成状況分析

- ・取り組みの達成状況、  
それに対する大学としての  
適切性の判断
- ・取り組みによる成果・達成度  
の分析

※要素1の方針等に沿って、  
取り組み状況&適切性や達成度を  
分析すること

## 【要素3】 取り組みの検証・ 今後の発展に向けた改善

- ・要素2を受けて、取り組みの  
適切性や効果の検証
- ・特長や課題を伸長・改善するた  
めの方策の検討・策定

※前回の認証評価結果において改善課題等  
の提言が付いた事項は、この点検・評価  
の一貫で、改善の取り組み内容とその  
成果についても言及すること

3つの要素で記述することで、

大学が何をしたいと考えているのか(要素1)

➡その実現として現状ではどのような状況なのか(要素2)

➡長所・課題の抽出と今後に向けた取り組み(要素3)

の流れでストーリーを持って記述できる

# 各基準の点検・評価と基本3要素

基本3要素に関し、各基準個別事項に即した補足事項は次スライド以下の通り。



✕ 点検・評価報告書の内容を「指定」するもの。

○ 少なくとも含んでいて欲しい内容。創意工夫によるさらなる個性の伸張と、それによる理念・目的の実現の後押しが本措置の目的であるため、各大学が重点を置いて取り組む内容に沿って点検・評価することが先決。

(この点検・評価、評価の機会を是非大学の発展に活かしてください。)

## 基本3要素に関する各基準の補足—基準1—

- 理念・目的の実現に向け、現在施行中の中・長期の計画、方針、目標等の内容を点検・評価報告書に記載し、何に重点を置いているのか分かるようにしてください。また、当該計画等を持つに至った背景(どのような現状認識に基づいた結果など)を説明してください。(【要素1、2】)
- 中・長期の計画、方針、目標等の達成状況を検証する取り組みについて実態を説明してください。(【要素3】)

点検・評価報告書第2章(基準2)以降の導入となるように。

## 基本3要素に関する各基準の補足—基準2—

- 内部質保証は、教育及び学習等の諸活動の適切性を確保する目的を持つことに鑑み、基準3以降で点検・評価する各種取り組みとの関連を意識した記述が必要です。すなわちそれらを適切に行うために内部質保証の仕組みをどのように運用しているかや、運用の結果としてどのような改善等の結果が現れているかを説明してください。【要素2】

単に体制・手続の紹介(…委員会がある、…委員会で作成後に教育研究評議会  
会で審議する、etc.)にならないように。

運用とその結果が分かるように(…〇〇に対応するために立ち上げた  
〇〇先端教育プログラムについては、〇～〇年度の重点点検・評価対象とし、…。…年  
のモニタリングによって明らかになった課題については、〇〇という措置につながり、  
プログラムが充実する結果となった。etc.)。

## 基本3要素に関する各基準の補足—基準2—

- 上記に際し、特にプログラムレベル(学部・研究科レベル)、授業科目レベルでの質保証活動に関しては、それぞれの学部・研究科において着実な取り組みがなされるように、全学として行っている調整、支援等の内容も、適切性を含めて点検・評価し記述してください※。

(【要素2】)

※ なお、基準4の【要素3】としてもプログラムレベル、授業科目レベルの質保証活動の実態を点検・評価することが必要ですが(後述)、内容の違いに注意が必要です。

- 内部質保証システム自体の改善・向上のために、どのような点検・評価を行い改善した実績があるかを説明してください(評価項目③に従って点検・評価)。(【要素3】)

教育・研究活動の直接的な点検・評価ではないことに注意。

## 基本3要素に関する各基準の補足—基準3—

- 組織改編など、中・長期の計画、方針、目標等に関わって実施した(又は、実施しようとしている)教育研究組織の編成に関わる取り組みを説明してください。(【要素1、2】)
- 教育研究組織に関する点検・評価と改善の実態を説明してください\*。(【要素3】)

※ 評価項目②に従って点検・評価してください。なお、基準2での点検・評価内容との関係性が不明確にならないよう注意が必要です。

点検・評価の過程やその後の改善策の検討、実施といったことが、基準2で示した全学的な内部質保証の取り組みとどのような関係を持っているか分かるように記述することが必要。

全ての事गरらる、内部質保証の中心を担う1つの組織が管掌しなければならないという意味ではない。

以下の基準も  
同様

## 基本3要素に関する各基準の補足—基準4—

- 学生の学習成果として把握した内容等に基づき、教育の達成度を分析した結果を記述するとともに、教育活動の実態と適切性を説明してください(学位授与方針と実際の成果との関係性、当該成果につながった教育活動の実態と適切性等)。(【要素2】)
- プログラムレベル、授業科目レベルでの点検・評価と改善の実態を説明してください\*。(【要素3】)

※ 評価項目⑥に従って点検・評価してください。なお、基準2での点検・評価内容との関係性が不明確にならないよう注意が必要です。

本協会側が成果の良し悪しを直接評価するものではない。学習成果をもとに、これまでの教育の効果を大学として確かめ、達成できたことや今後の課題を明らかにする作業が必要。点検・評価報告書にはその内容を記述。なお、有効な取り組みについては積極的に記述することが望まれる。

## 基本3要素に関する各基準の補足—基準5—

- 入学者選抜において公正性をどのように確保しているかということと、現在の措置の適切性を点検・評価し記述してください。(【要素2】)
- 入学者数や在籍学生数の管理の実態と教育・学習環境を確保する観点から見た学生数管理の適切性を点検・評価し記述してください。(【要素2】)
- 学生の受け入れに関する点検・評価と改善の実態を説明してください※。(【要素3】)

※ 評価項目③に従って点検・評価してください。なお、基準2での点検・評価内容との関係性が不明確にならないよう注意が必要です。

## 基本3要素に関する各基準の補足—基準6—

- 学習成果の達成につながる教育や、大学が目指す研究を展開するため、どのような編制方針のもとで教員組織を編制しているか、その実態と適切性を点検・評価し記述してください。
- 上記のうちには、教員が担う責任の内容、科目適合性の学内での判断、各教員の担当授業科目、担当授業時間の把握・管理(複数学部、他大学・企業等との兼務教員について業務状況や教育効果含む)の内容を含めてください(専任教員制・基幹教員制共通)。

単に編制方針への適合性が点検・評価され、記述されるだけでは不十分。大学の目指す教育、研究の在り方に適った教員組織であるかを問いながら現状の適切性を点検・評価することが必要。

## 基本3要素に関する各基準の補足—基準6—

- 授業において指導補助者を活用している場合は、その実態と適切性を点検・評価し記述してください。(【要素2】)
- ファカルティ・ディベロップメントの取り組みと成果を説明してください。また、教員・教員組織に関する点検・評価と改善の実態を説明してください\*。(【要素3】)

※ 評価項目④に従って点検・評価してください。なお、基準2での点検・評価内容との関係性が不明確にならないよう注意が必要です。

研修に関することも含む。

## 基本3要素に関する各基準の補足—基準7—

- 学生支援を通じて学生が学習に専念し、安定した学生生活を送ることができているか  
点検・評価し記述してください(基準4で点検・評価した教育・学習の内容に鑑みて、その適切な実施に資するものかという観点からも適切性を分析)。(【要素2】)
- 学生支援に関する点検・評価と改善の実態を説明してください\*。(【要素3】)
  - ※ 評価項目②に従って点検・評価してください。なお、基準2での点検・評価内容との関係性が不明確にならないよう注意が必要です。

修学支援(学習面、経済面)、生活支援、進路支援、その他の支援の4つを等しく網羅する必要はない。大学として重点を置く取り組みを中心に、「学生が学習に専念し、安定した学生生活を送ることができているか」という大学基準の最も根本的な内容に答えるよう点検・評価することが必要。

## 基本3要素に関する各基準の補足—基準8—

- 教員の教育活動、研究活動及び学生の学習の3点に関し、施設・設備等の環境整備や、研究支援等の条件整備をどのように行い、そしてその成果として何を達成しているかを説明してください※。(【要素2】)

※ 上記に関し、教員の教育活動、研究活動及び学生の学習の3点それぞれについて点検・評価が必要ですが、点検・評価における重点の置き方は、中・長期の計画等の内容によって異なっていて構いません。

- 教育、研究及び学習の環境・条件整備と運用に関する点検・評価と改善の実態について説明してください※。(【要素3】)

※ 評価項目④に従って点検・評価してください。なお、基準2での点検・評価内容との関係性が不明確にならないよう注意が必要です。

点検・評価において注意が必要。

## 基本3要素に関する各基準の補足—基準9—

- 重点を置いている取り組みの成果・達成度を点検・評価し記述してください。(【要素2】)
- 社会貢献・社会連携に関する点検・評価と改善の実態を説明してください※。(【要素3】)
  - ※ 評価項目②に従って点検・評価してください。なお、基準2での点検・評価内容との関係性が不明確にならないよう注意が必要です。

# 「弾力的措置」を適用した点検・評価報告書づくりに向けて

## 例示・提案

※点検・評価やその結果を報告書にまとめる方法は、大学に委ねています。独自性を尊重する観点から、ひとつの事例・ご提案として記します。



「大学基準」(基準・解説)を  
学内メンバーで読んでみる

※解説で重要だと思う箇所にマーカー、  
基準に該当する取り組みとして、  
どのような取り組みが学内で行われて  
いるか、ディスカッションしてみる



「重点を置いて取り組んでいること」  
をディスカッションしてみる

※自らが考える「重点項目」を話しあってみる。  
それらの根拠となる方針・考え(中期計画、  
長期ビジョン、アクションプランなど)に  
についても検討してみる。



報告書(草案)を使って  
学内で相互に評価してみる

※学内ピアレビューのような取り組み  
をしてみる。特長・特色が明確か、  
取り組みの効果・成果は書けているか、  
課題・改善方策が示せているかを  
客観的な視点でみてみる。

内部質保証の取り組み・活動が恒常的にできている大学だからこそ、  
・自らの現状(何を目指して、何に重点を置いて活動しているのか、その取り組みは成果が見られるのか)  
・次に向けた課題・チャレンジ(成果を検証して改善する点はあるのか) を洗い出すことができる

大学基準(第4期)の解説動画を作成しました！

※基準の理解を深めていただく一助としてご活用いただければ幸いです。

<https://www.youtube.com/watch?v=tok7t0GWTxA>



